

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名 一般国道25号 <small>いかるが</small> 斑鳩バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 近畿地方整備局						
起終点 自：奈良県生駒郡斑鳩町 幸前 至：奈良県生駒郡斑鳩町 龍田	延長 4.7km							
事業概要 一般国道25号は三重県四日市市から大阪市に至る主要幹線道路であり、関西圏と中京圏を結ぶ動脈であると共に、地域の重要な生活道路である。 斑鳩バイパスは一般国道25号の交通混雑の緩和、交通安全の確保等を目的として計画された道路である。								
S47年度事業化	S42年度都市計画決定 (H15年度変更)	H10年度用地着手 H14年度工事着手						
全体事業費	240億円	事業進捗率 約28% 供用済延長 0.4km						
計画交通量 10,400台/日								
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">B/C (事業全体) 1.2</td> <td style="width: 40%;">総費用 (残事業)/(事業全体) 144/227億円</td> <td style="width: 40%;">総便益 (残事業)/(事業全体) 264/264億円</td> </tr> <tr> <td>(残事業) 1.8</td> <td>事業費：128/210億円 維持管理費：15/17億円</td> <td> 走行時間短縮便益：236/237億円 走行経費減少便益：21/21億円 交通事故減少便益：6.5/6.5億円 </td> </tr> </table>	B/C (事業全体) 1.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 144/227億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 264/264億円	(残事業) 1.8	事業費：128/210億円 維持管理費：15/17億円	走行時間短縮便益：236/237億円 走行経費減少便益：21/21億円 交通事故減少便益：6.5/6.5億円	基準年 平成25年
B/C (事業全体) 1.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 144/227億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 264/264億円						
(残事業) 1.8	事業費：128/210億円 維持管理費：15/17億円	走行時間短縮便益：236/237億円 走行経費減少便益：21/21億円 交通事故減少便益：6.5/6.5億円						
感度分析の結果 【事業全体】 交通量：B/C=1.0~1.3 (交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.1~1.2 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.1~1.2 (事業期間±20%)								
感度分析の結果 【残事業】 交通量：B/C=1.6~2.1 (交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.7~2.0 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.8~1.9 (事業期間±20%)								
事業の効果等								
①交通混雑の緩和 ・一般国道25号の交通量は交通容量を大幅に超過し、交通混雑する一般国道25号を避け周辺の生活道路に交通が流入しており、また、道路端には民家が迫り、殆どの区間で歩道未整備又は狭小であるが、整備により、これらの改善が期待できる。								
②交通安全の確保 ・斑鳩バイパスへの交通転換により、交通混雑に起因する事故の減少が期待できる。								
③主要な観光地へのアクセス向上 ・沿線へのアクセス性向上により、観光客の増加が見込まれる。 (法隆寺：観光客入込数：84.2万人/年(H23))								
④高度医療施設へのアクセス向上 ・王寺町～奈良県立奈良病院の所要時間が短縮。(39分→30分)								
⑤日常活動圏中心都市へのアクセス向上 ・王寺町～奈良市への所要時間が短縮。(56分→48分)								
関係する地方公共団体等の意見								
地域から頂いた主な意見：								
・奈良県生駒郡斑鳩町長より、「いかるがパークウェイ（一般国道25号斑鳩バイパス）整備推進を図るための予算確保についての要望」で斑鳩バイパスの整備促進を要望を受けている。 ・斑鳩パークウェイ推進協議会（斑鳩町・自治会により構成）より、「一般国道25号いかるがパークウェイ事業促進にかかる予算確保について」で斑鳩バイパスの整備促進を要望を受けている。								
奈良県知事の意見：								
国道25号は西名阪自動車道や中和幹線等とともに大和平野を東西に結ぶ幹線道路として重要な道路です。 しかし、斑鳩町を中心とする国道25号では慢性的な交通渋滞が発生しており、依然として安全な歩行空間が確保されないまま一部区間が通学路に位置づけられています。また、生活道路には渋滞を避けた車が流入し、通学児童や地域住民の安全を脅かしています。								

<p>国道25号斑鳩バイパスは、このような交通混雑の緩和と斑鳩町市街地の交通安全の確保により地域の活性化に寄与する道路であり、早期整備が求められています。</p> <p>以上のことから、対応方針(原案)のとおり、事業継続が妥当と考えます。</p> <p>なお、今後の事業推進にあたっては斑鳩町小吉田から稲葉西までを平成25年度に確実に供用されるとともに、地域住民のご理解とご協力を得ながら、残る区間の計画的かつ着実な整備を進め、早期の供用が図られるようお願いします。</p>	
<p>事業評価監視委員会の意見</p> <p>審議の結果、「一般国道25号斑鳩バイパス」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、事業を継続することでよいと判断する。</p> <p>ただし、「次回の再評価時に、8工区について、代替案、将来交通量、景観、大気環境等について定量的に提示し、今後の事業の対応方針を具体的に検討すること」と附帯意見を付ける。</p>	
<p>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</p> <p>一般国道25号の交通量は、近年、減少傾向であるが、依然として、交通容量を大幅に超過。</p>	
<p>事業の進捗状況、残事業の内容等</p> <p>現在まで0.4km(モデル区間として部分開通)開通済み、用地進捗率：約36%、事業進捗率：約28%。</p>	
<p>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</p> <p>残る区間のうち、町道405号線から竜田川までの0.7km区間については、平成25年度の開通を目指し、舗装工事を推進するとともに、竜田川から三室交差点までの区間について用地測量及び用地買収等を進め、引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。</p>	
<p>施設の構造や工法の変更等</p> <p>事業実施にあたり、円形側溝から箱型パイプ(スリット構造)にすることによる、高額なグレーチング部にかかる費用の縮減や、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。</p>	
対応方針	事業継続
<p>対応方針決定の理由</p> <p>以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>	

再評価結果(平成26年度事業継続箇所)

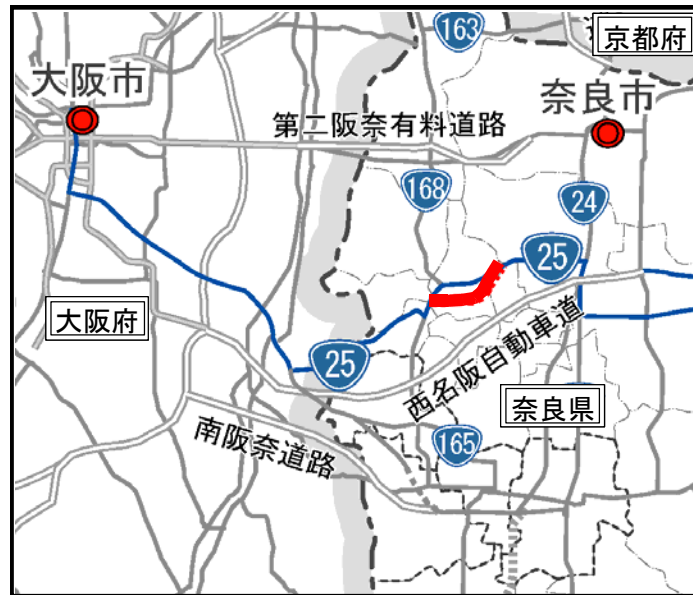
担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名 一般国道25号 <small>いかるが</small> 斑鳩バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 近畿地方整備局
起終点 自：奈良県生駒郡斑鳩町幸前 至：奈良県生駒郡斑鳩町龍田		延長 <div style="text-align: right;">4.7km</div>

事業概要図

【位置図】



【概要図】



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。